

東予総合高の専門学科を紹介するブース



新たな高校特色は？

西条 東予総合・小松高説明会

西条市の小松、丹原、東予の県立3高校が再編統合し、2026年4月に開校する東予総合高と小松高の学校説明会が市内の全10中学校で開かれている。3日には東予東中であり、3年生約130人らがカリキュラムや特色ある学びの説明に耳を傾けた。東予総合高は総合学

科に加え、アグリデザイン科、機械電気科、建築土木科、ライフデザイン科の4専門学科を併設。専門学科の生徒は入学後1年間同じクラスに所属し、自身が選択した学科以外の授業を受けられる。小松高は高度な情報通信技術（ICT）を学ぶ情報科学科（仮称）

を県内の県立高で初めて新設。普通科は2年生に進級時、地域課題の解決に取り組む社会共創、大学進学を目指す文理探究、教員養成の3コースを選べる。会場には新校それぞれの学科のブースが設置され、専門知識を持つ教員が応対。ICTのブースでは、拡張現実（AR）やプログラミングを使った学習内容を紹介した。

「新しい高校に専門的な学びがあることを知り、将来の夢や高校生活のイメージが湧いた。進路の一つとして考えたい」と話した。制服の試着コーナーもあり、中学生がデザインや着心地を確かめていた。説明会は10日まで実施。9月以降、今治市と新居浜市の商業施設での開催を予定している。

（伊藤義樹）